

「つちうらMaaS (観光客周遊促進・AIコミュニティバス)実証実験」が、 国土交通省「日本版MaaS推進・支援事業」に選定

観光客の市内周遊促進及び中心市街地の活性化並びに市民の移動手段確保のため、土浦市内にてMaaSの実装に向けた実証実験に取り組んでまいります



「令和2年度日本版MaaS推進・支援事業」の
国土交通省報道資料を手にする
安藤土浦市長(左)と弊社松上取締役社長(右)

関東鉄道株式会社(本社:茨城県土浦市、取締役社長:松上英一郎)は、「つちうらMaaS(観光客周遊促進・AIコミュニティバス)実証実験」を、国土交通省「令和2年度日本版MaaS推進・支援事業」に応募し、7月31日、選定されました。その詳細は以下の通りです。

記

1. 事業期間 2021年2月～3月
2. 事業主体 つちうらMaaS(土浦市新モビリティサービス)推進協議会
3. 対象地域 自転車道「つくば霞ヶ浦りんりんロード」及び土浦駅周辺の中心市街地 他
4. 事業内容(予定)
 - (1)つくば霞ヶ浦りんりんロードの活用支援
 - ①レンタサイクル・観光施設・飲食店等の利用促進及び誘客を図るため、小田急電鉄が展開するMaaSアプリ(EMot)を活用し「複合経路検索」と「電子チケットの発行」によるキャッシュレス化の実証実験を実施。
 - ②電動キックボードや電動車椅子の試験走行を実施。
 - (2)AIコミュニティバスの実証実験
 - ①ビッグデータを分析・検証し、市内の交通空白地域と近隣を走行する既存路線バスのバス停、商業施設等を結ぶAIコミュニティバスの実証運行を実施。
 - ②決済方法として顔認証システム及びサブスクリプションによるキャッシュレスの導入を実施。
 - ③利用登録等にマイナンバーカードとの連携を図る。
 - ④自動運転の実証実験に向けた準備を進める。

【参考】

1. つちうらMa a S推進協議会構成員

関東鉄道株式会社、土浦市、土浦商工会議所、茨城県ハイヤー・タクシー協会、
特定非営利活動法人まちづくり活性化土浦、筑波大学都市計測実験室、
ジェイアールバス関東株式会社、茨城県

2. Ma a S (Mobility as a Service) とは

地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通や
それ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス。

以 上